

新庁舎整備に関する検討状況について

1 「第4回品川区庁舎機能検討委員会」について

(1) 開催日時

令和3年1月22日（金）※書面開催

(2) 内容（概要は別紙のとおり）

第4回については、書面開催のため、事務局より審議資料を送付し、「将来の変化に対応し、長期間有効に使い続けられる庁舎」「共通機能」の2つの分野についてご意見を書面にいただきました。

(3) 主な意見（要旨）

①「将来の変化に対応し、長期間有効に使い続けられる庁舎」

ア ライフサイクルコストの低減

- ・100年や150年といった長寿命を想定したライフサイクルコストの試算があっても良い。
- ・建築・電気・空調・給排水それぞれの管理対象物に耐用年数がある。修繕費は高くとも予算をしっかりとつけないと維持できない。

イ 将来の変化への柔軟な対応

- ・今後時代のニーズがどのように変化していくのか、想定内の進歩、想定外の進歩とフレキシブルに対応できる余力ある設計を希望。
- ・スペースの用途変更が容易な仕組みが必須。
- ・今後の人口減少やAI・ICT技術の進歩、また感染症対策等、予測困難な将来の変化や需要に対応できるユニバーサルレイアウトの採用が必要。

②「共通機能」

ア ユニバーサルデザイン

- ・性別や性自認のあり方に関わらず、気兼ねなく使えるジェンダーフリートイレの整備。
- ・庁舎単体として考えるよりも、庁舎までのアクセスを総体として捉える必要がある。
- ・平時と有事（災害時等）両方に通用するユニバーサルデザインが特に低層階においては必要。
- ・「書かない窓口」などソフト面のユニバーサルデザインは今後さらに拡充していく必要がある。

イ ICT化やペーパーレス等の環境整備

- ・ICT強化の際は、庁舎内のみではなく、地域センター、小・中学校とのアクセスにも配慮して欲しい。
- ・アクセスポイントの拡大により自席以外でのパソコン等の利用が可能になった場合の情報管理は、より厳重なものが必要。
- ・区役所でもテレワークや在宅勤務を真剣に考えて取り入れた方が良い。

ウ セキュリティ対策

- ・利用する区民や職員の心理的負担軽減のためにも、お互いの視線の角度や呼び出しの方法を徹底的に検討すべきかと思う。
- ・執務スペースなどは、視覚的に開放感を生むような工夫が必要。
- ・セキュリティ対策については安心、安全、衛生を踏まえると少し厳しいくらいが良い。
- ・事務処理を円滑に行い、情報の漏洩防止や災害時の情報保護を図っていくため、入退出などのセキュリティ対策を実施されたい。

③その他

- ・新庁舎建設候補地、いわゆる「D案」（区有地とJR敷地の再編の上、現庁舎隣の8,300㎡の敷地に新庁舎を建設する案）は、白紙撤回することを求める。
- ・現状のまま、「答申」を出すことに反対である。分科会やワークショップ等を設け、新たな委員も募り、十分な議論を重ねた上で、答申をまとめていくことを求める。

2 「第5回品川区庁舎機能検討委員会」について

(1) 開催日時

令和3年3月26日（金）午前10時から正午

(2) 内容

- ・庁舎機能検討全体のまとめ
- ・区長への答申

3 答申書について

答申書は区ホームページで公開するとともに、本庁舎3階入り口、経理課、区政資料コーナー、各地域センター、各図書館で配布します。答申書に関するご意見等は、電子意見フォーム、電話等で受け付ける予定です。

また、答申書の内容について、今後ワークショップ等を開催し、ご意見等をいただく機会を設ける予定です。

4 品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会の設置について

- (1) 設置目的 品川区新庁舎整備基本構想・基本計画に関する事項について審議する。
- (2) 委員任期 令和3年5月から令和4年9月まで（予定）
- (3) 委員構成 合計19名程度（学識経験者6、公募区民4、区内関係団体5、区議会議員4）

① 学識経験者 6名

早川 誠	立正大学法学部教授、政治学 品川区庁舎機能検討委員会委員長 2020 品川区総合戦略策定委員長 2015 品川区まちづくりマスタープラン策定委員 2011
藤井 敬宏	日本大学理工学部教授、都市交通計画 品川区庁舎機能検討委員会副委員長 2020 旗の台駅周辺バリアフリー計画策定協議会委員長 2017 大井町駅周辺バリアフリー計画策定協議会委員長 2015
吉田 敏	東京都立産業技術大学院大学教授、建築学・技術経営学 品川区庁舎機能検討委員会副委員長 2020 国土交通省関東地方整備局営繕事務所等総合評価審査分科会 分科会長 2020
大島 英樹	立正大学法学部教授、地域協働・社会教育 品川区地域振興基金活用推進会議審査委員長 2020 品川区団体支援のあり方検討会委員長 2018
高橋 邦夫	合同会社KUコンサルティング代表社員、電子自治体エバンジェリスト 総務省地域情報化アドバイザー、総務省テレワークマネージャー 文部科学省ICT活用教育アドバイザー

※上記5名の他、1名交渉中

② 公募区民 4名

- ・周知方法：広報しながわ3月11日号、区ホームページ、経理課窓口での周知
- ・応募締切：4月7日（水）

③ 区内関係団体 5名

区 分	所 属
町会・自治会	品川区町会自治会連合会
産業	東京商工会議所品川支部
福祉	品川区社会福祉協議会
健康	品川区民健康づくり推進協議会
観光	しながわ観光協会

④ 区議会議員 4名 区議会事務局を通じて選定手続きを依頼する

(4) スケジュール (予定)

回数	時期	内容
第1回	令和3年5月頃	基本構想素案の検討、意見交換
第2回	〃	
第3回	令和3年7月頃	
第4回	令和3年9月頃	
	令和3年10月頃	パブリックコメント実施
第5回	令和3年11月頃	パブリックコメント結果報告 基本構想案について (答申)
第6回	令和4年1月頃	基本計画素案の検討、意見交換
第7回	〃	
第8回	令和4年5月頃	
第9回	令和4年7月頃	
	令和4年8月頃	パブリックコメント実施
第10回	令和4年9月頃	パブリックコメント結果報告 基本計画案について (答申)

第4回品川区庁舎機能検討委員会【令和3年1月22日(金)※書面開催】議題の概要①

1.新庁舎機能の分類 - 今回の検討テーマと第3回の検討結果による計画への反映方針（案）

(1) 令和元年度までのまとめ

第4回の検討テーマ

求められる庁舎機能	区民に開かれた庁舎	防災拠点機能を強化した庁舎	環境に配慮した庁舎	長く使われる庁舎
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ窓口などのサービスアップと効率化 ユニバーサルデザインへの配慮やバリアフリー化 区民と区との協働、交流拠点としての役割 働きやすさに配慮した空間整備やICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部として、区民の安心安全を支える防災拠点 耐震性能、浸水対策、非常用電源などの建物性能 災害時の区民受け入れを考慮した建物 	<ul style="list-style-type: none"> 高効率、省エネルギー性能を高めて維持管理コストを低減 再生可能エネルギーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化による業務量の増減やICT化など、将来を見据えた環境の整備 老朽化による設備機器・配管などの更新などを考慮した計画

※区民サービス、区民協働・交流、行政・議会、3つの視点で分割

(2) 再分類による検討案

求められる庁舎機能	(区民サービス)	(区民協働・交流)	(行政・議会)	(防災)	(環境)	(将来対応・経済性)
	区民にとってわかりやすく、利用しやすい庁舎	区民の協働と交流の拠点となる開かれた庁舎	機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎	区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎	環境にやさしい低炭素型の庁舎	将来の変化に対応し、長期間有効に使い続けられる庁舎
導入機能・検討の視点	<ul style="list-style-type: none"> ●窓口機能 ●相談機能 ●案内機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●協働・交流機能 ●情報発信機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●執務機能 ●会議機能 ●議会機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害対策本部機能 ●地域内輸送拠点機能 ●災害時の区民受け入れ機能 ●建物性能・バックアップ機能 ●防災普及啓発機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境性能 ●省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用 ●周辺環境への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフサイクルコストの低減 ●将来の変化への柔軟な対応
	第3回委員会で検討	第3回委員会で検討	第3回委員会で検討	第2回委員会で検討	第2回委員会で検討	第4回委員会で検討
	【共通機能】 ●ユニバーサルデザイン			●ICT化やペーパーレス等の環境整備		●セキュリティ対策
	第4回委員会で統括					

第4回品川区庁舎機能検討委員会【令和3年1月22日(金)※書面開催】議題の概要②

2.第4回の導入機能の検討テーマ（求められる庁舎機能、機能分類、導入機能のあるべき姿・検討の視点）

将来の変化に対応し 長期有効に 使い続けられる庁舎	ライフサイクル コストの低減	■ライフサイクル コストの低減	ライフサイクルコストの低減に向けて、規模や性能の最適化を図り、 経済性に優れた庁舎を計画する。
	将来の変化への 柔軟な対応	■柔軟性の高い環 境の整備	将来の行政ニーズや行政組織・働き方の変更に伴う、レイアウト変更などを想定し、 長期間にわたり有効に活用できる庁舎を計画する。

共通機能	ユニバーサル デザイン	■ユニバーサル デザインの導入	すべての来庁者の方が不自由なく利用できるよう、ハード面とソフト面において、 ユニバーサルデザインの考え方を導入した庁舎を計画する。
	ICT化や ペーパーレス等 の環境整備	■ICTの活用による 窓口サービスの 充実や業務の効 率化	来庁者や職員にとって最適なICTを活用することで、窓口サービスの充実や ペーパーレス等の実現による業務効率化・環境への負荷軽減を図る。
	セキュリティ 対策	■セキュリティ 対策の強化	それぞれのエリアに応じたセキュリティ対策を講じて、防犯対策や情報保護の 強化を図る。